

令和３年度進行管理・評価シート
竹田市歴史的風致維持向上計画（平成２６年６月２３日認定）
（最終変更平成２９年３月３１日）

□進捗評価シート(様式１)

①組織体制(様式１－１)	
１ 計画推進体制	 1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式１－２)	
１ 景観計画における歴史的風致維持向上に関する事項	 2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式１－３)	
１ 建物修景補助事業	 3
２ 旧竹屋書店保存修理事業	 4
３ 史跡岡城跡保存整備事業	 5
４ 道路美装化事業	 6
５ 城下町路地裏整備事業	 7
６ 城下町老朽危険空き家等除却促進事業	 8
７ 城下町案内ガイド養成事業	 9
８ 城下町・岡城跡歴史学習事業	 10
９ 城下町案内マップ等制作事業	 11
10 城下町移住定住支援事業	 12
11 城下町・岡城跡回遊促進事業	 13
12 民俗芸能等支援事業	 14
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式１－４)	
１ 文化財の修理に関する事項	 15
２ 文化財の保存又は活用に関する事項	 16
３ 文化財の周辺環境の保全に関する事項	 17
４ 文化財の防災に関する事項	 18
５ 文化財の保存・活用の普及・啓発に関する事項	 19
⑤効果・影響等に関する報道(様式１－５)	
１ 城下町の空き地・空き店舗の活用について	 20
２ 歴史文化の情報発信について	 21
３ 伝統文化の継承について	 22
⑥その他(効果等)(様式１－６)	
１ 計画認定による観光客数の推移について	 23
□法定協議会等におけるコメント(様式４)	 24

進捗評価シート

(様式1-1)

評価軸①-1
組織体制

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
計画推進体制		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	本計画の推進体制については、まちづくり部局の建設課、文化財保護部局のまちづくり文化財課が計画推進の事務局とし、庁内の関係各課で組織されている「城下町再生プロジェクト庁内会議」を計画推進のための庁内の連絡・調整を行う。歴史まちづくり法第11条に基づき設置した「竹田市歴史的風致維持向上協議会」は、事務局と連携し、計画の実施に関する連絡・調整を行う。また、必要に応じて文化財・都市計画・景観等に関連する委員会等に協議を行い、指導・助言を得る。また、文化財の所有者・管理者や文化財等の保存・活用を行う市民や関係団体との連絡・調整及び支援を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
竹田市歴史的風致維持向上協議会を1回開催(書面による開催)した。協議会では、令和3年度の事業概要、令和4年度以降の事業計画について書面にて意見集約を行った。		
		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	歴史的風致維持向上協議会の書面開催では、協議会委員へ提案内容が十分に伝わらないことに加え、議論の積み重ねが難しいため、可能な限り対面会議にて実施する必要がある。	
状況を示す写真や資料等		
書面開催のため、写真等の資料無し		

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度		令和3年度														
項目		現在の状況														
景観計画における歴史的風致維持向上に関する事項		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手														
計画に記載している内容	本市は、大分県南西部に位置し、市の中心部は江戸時代には岡藩7万石の城下町として栄え、古くから奥豊後の政治・文化・経済・交通の拠点である。山城であった岡城跡の麓には、今なお旧藩時代の城下町の面影を残す武家屋敷や寺社が立ち並び、独特の風情が感じられる。平成の合併以前の旧竹田市においては、昭和54年に「伝統的文化都市環境保存地区整備事業計画」、平成13年に「竹田区域まちなみ環境整備方針」を策定し、城下町としての伝統と歴史的景観を生かしたまちづくりを行ってきた。															
	平成17年4月1日に、旧竹田市と旧直入郡荻町、久住町、直入町が合併して新しい竹田市が誕生したことで、本市は、城下町の景観以外にも牧草地や温泉街等、魅力的で多様な景観を持つ町となった。															
	しかしその一方で、幹線道路沿いの看板の乱立、伝統的なまちなみの喪失、山林や農地の荒廃など、景観を阻害する動きも少なくなく、新たなまちづくりの柱の一つとなる景観形成の必要性が高まってきた。															
	このような背景のもと、新市としての景観形成のビジョンを再構築するため、平成27年度に竹田市景観計画を策定した。竹田市景観計画は、本市における良好な景観形成に関する理念や、景観計画の区域、景観形成の方針、届出を要する建築行為等の基本事項をまとめたもので、個性ある美しいまちづくり及び歴史的風致に配慮したまちづくりを進めるための計画である。															
	個性ある自然景観、歴史・文化の景観、くらしの景観が市全域に広がっていることから、市全域を景観計画区域とし景観形成を行う。また、岡城、城下町、それらの周辺地域は、史跡等環境保存条例により、これまで歴史的文化遺産の保存が重点的に取り組まれてきており、竹田市歴史的風致維持向上計画においても重点区域としている。このため、本計画においても「景観形成重点地区(地区名は城下町地区とする)」として位置づけ、より詳細な景観誘導を図る。															
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																
令和3年度は景観計画区域の届け出が62件あった。申請内容については建築物や工作物の修景などであった。色彩等について調整することで城下町地区や岡城周辺の歴史的風致にあったまちなみを維持することができた。また、令和3年度中、景観審議会の開催は行われなかった。																
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)														
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		景観条例、景観計画遵守の徹底を行う。														
状況を示す写真や資料等																
令和3年度竹田市景観計画区域内行為の届出 <table><thead><tr><th>行為の種類</th><th>件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>建築物の建築等</td><td>11</td></tr><tr><td>工作物の新設等</td><td>37</td></tr><tr><td>開発行為</td><td>0</td></tr><tr><td>土地の形質変更等</td><td>9</td></tr><tr><td>木竹の伐採</td><td>5</td></tr><tr><td>物件の堆積等</td><td>1</td></tr></tbody></table>			行為の種類	件数	建築物の建築等	11	工作物の新設等	37	開発行為	0	土地の形質変更等	9	木竹の伐採	5	物件の堆積等	1
行為の種類	件数															
建築物の建築等	11															
工作物の新設等	37															
開発行為	0															
土地の形質変更等	9															
木竹の伐採	5															
物件の堆積等	1															

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
建物修景補助事業			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成13年度～令和5年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)・建物修景事業(単独)		
計画に記載している内容	竹田城下町地区における民家や店舗の所有者が、歴史的建造物等の特性を活かしたまちづくり協定を締結した上で屋根・外構等の建物修景を「竹田地区街並み形成景観・修景ガイドライン」に沿って行う場合に、経費の一部について補助を行う。 竹田城下町の町割りは、城下町が形成された400 年前の町割りがほぼそのまま引き継がれてきたものであり、往時の生活空間や情感を体感できる箇所が点在している。本事業による建物修景等を行うことで、建物と城下町のさらなる調和が図られ、歴史的風致の維持・向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年に城下町である中心市街地内に計画された東西南北に縦横断する都市計画道路を廃止し、400年続く町割り、景観、風致を活かしたまちづくりを強化した。近年では、旧都市計画道路沿線地域から「まちづくり協定」を締結する地区が出てきており、建物修景事業の要望・着手が行われるようになっている。			
令和3年度建物修景事業:11件実施			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		今後も計画に沿った事業推進を図っていく。	
状況を示す写真や資料等			
建物修景事業 修景前  修景後 			

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
旧竹屋書店保存修理事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成26年度～令和4年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	明治32年に建造された旧竹屋書店(登録有形文化財:佐藤家住宅)の店舗兼主屋・土蔵について、公開活用を図るため、屋根・外壁・内装等の保存修理を「竹田地区街並み形成景観・修景ガイドライン」に沿って行い、地場産品の販売や休憩施設として活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
修復に向けた実施設計及び建物の所有者との保存修理に関する意見交換を行い、令和4年度の修復実施の合意を得た。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		建物の老朽化が進展しているため、確実に所有者との調整を図っていく。	
状況を示す写真や資料等			
			
旧竹屋書店現況			

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
史跡岡城跡保存整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	

事業期間	昭和63年度～令和5年度
------	--------------

支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金・文化資源活用事業費補助金
-------	----------------------------------

計画に記載している内容	文禄3年(1594)の初代藩主中川秀成の入部後、造営が着手された岡城跡は、経年による老朽化が著しいため、現況調査を入念に行った上で、保存修理を適切に進めるとともに、生涯学習や観光の拠点として積極的な公開活用を促進するための環境整備を行う。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

岡城跡の通路整備及び景観整備として、支障木の伐採を実施し岡城跡の魅力向上を図った。また、城跡を形成する急崖部の岩盤について落石等の危険性があるため調査を実施し、今後の安全対策の資料とした。
岡城跡の来場者数については、前年度より新型コロナウイルス感染拡大の影響により大幅に来場者が減少している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	引き続き、岡城跡保存活用計画に基づき、保存・整備・活用の取組みを推進する。
---	---------------------------------------

状況を示す写真や資料等



岡城跡通路整備状況



岡城跡景観整備事業※支障木伐採により曲輪が見えるようになった

岡城跡年度別入城者数(H21～R3)

年 度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
入城者数	85,990	71,042	67,130	76,148	68,326	76,941	75,344	53,481	59,834	60,000	74,315	46,117	41,548
備 考						計画認定		熊本地震				新型コロナ	新型コロナ

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
道路美装化事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成13年度～令和5年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(H26～R1)、社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)(H27～		
計画に記載している内容	竹田城下町の良好な景観形成を推進するため、市道本町八幡川・府内町・代官町・向丁・横町線を対象に、城下町全体の周辺の景観に調和した舗装整備を行うため、測量設計及びカラー舗装工事を実施する。 竹田城下町は、多数の指定文化財等が集積するなど多くの歴史的遺産が残されている。本事業を実施し、城下町一円の道路美装化を行うことで、道路景観の改善を図るとともに、こうした歴史的遺産を城下町の情景に合った道路整備を行うことで、城下町のまちなみの連続性の保全が図られ、歴史的風致の維持・向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度は1路線の道路美装を実施した。 市道古町西浦町線 L=76.4m			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐計画どおり進捗している ☒計画どおり進捗していない		今後も計画に沿った事業実施を行う。	
状況を示す写真や資料等			
道路美装化(西浦町川辺線)			
美装化前			
美装化後			

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
城下町路地裏整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成26年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	民地等を活用し、敷地の所有者が、歴史的建造物等の特性を活かしたまちづくり協定を締結した上で道路美装化等を行う場合に、経費の一部について補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
対象となる裏路地候補地について事業実施の可能性について、検討を進めてきた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐計画どおり進捗している ☒計画どおり進捗していない		回遊性を重視した事業であるが、個人所有の敷地等を利用するため、十分に住民との意見調整を図り、事業実施箇所の特定を進め、事業期間を延長し実施する。	
状況を示す写真や資料等			
 裏路地整備の例			

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
城下町老朽危険空き家等除却促進事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成26年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業) 市単独		
計画に記載している内容	城下町の良好な景観形成の促進及び住環境の改善を図ることを目的に、使用されず適切に管理されていない老朽危険建物の除却に対し補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度は6件(重点区域内3件)の老朽危険家屋除去を実施、安全な景観保全するとともに、城下町の景観風致の向上を図ることができた。今後も、必要に応じ実施していく。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		街並み景観や歴史的風致の維持向上に直接的に関係する事業であり、事業期間を延長し積極的な取組を行っていく。	
状況を示す写真や資料等			
実施場所: 竹田町 撤去前  撤去後 			

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
城下町案内ガイド養成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成26年度～令和5年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	観光ボランティアガイド・岡城こどもガイド・岡城楽しみ隊などの案内ガイドで城下町や岡城跡を案内する団体に対し、統一した内容で案内を実施できるようにガイド研修や案内テキスト等を作成するなど、必要な支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「岡城たのしみ隊」及び「岡城武者揃」等の団体の活動に対し支援を行い、市民参加によるガイド育成が図られた。また、岡城子どもガイドの育成については、新型コロナウイルス対策により実施出来なかった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		児童数の減少により、岡城こどもガイド希望者の減少が懸念されることから、学校現場等との連携など募集内容の見直しを進めていく。 今後、ガイド等の団体への支援を継続して実施していく。	
状況を示す写真や資料等			
			
観光客へ説明を行う「岡城武者揃」と「岡城楽しみ隊」			

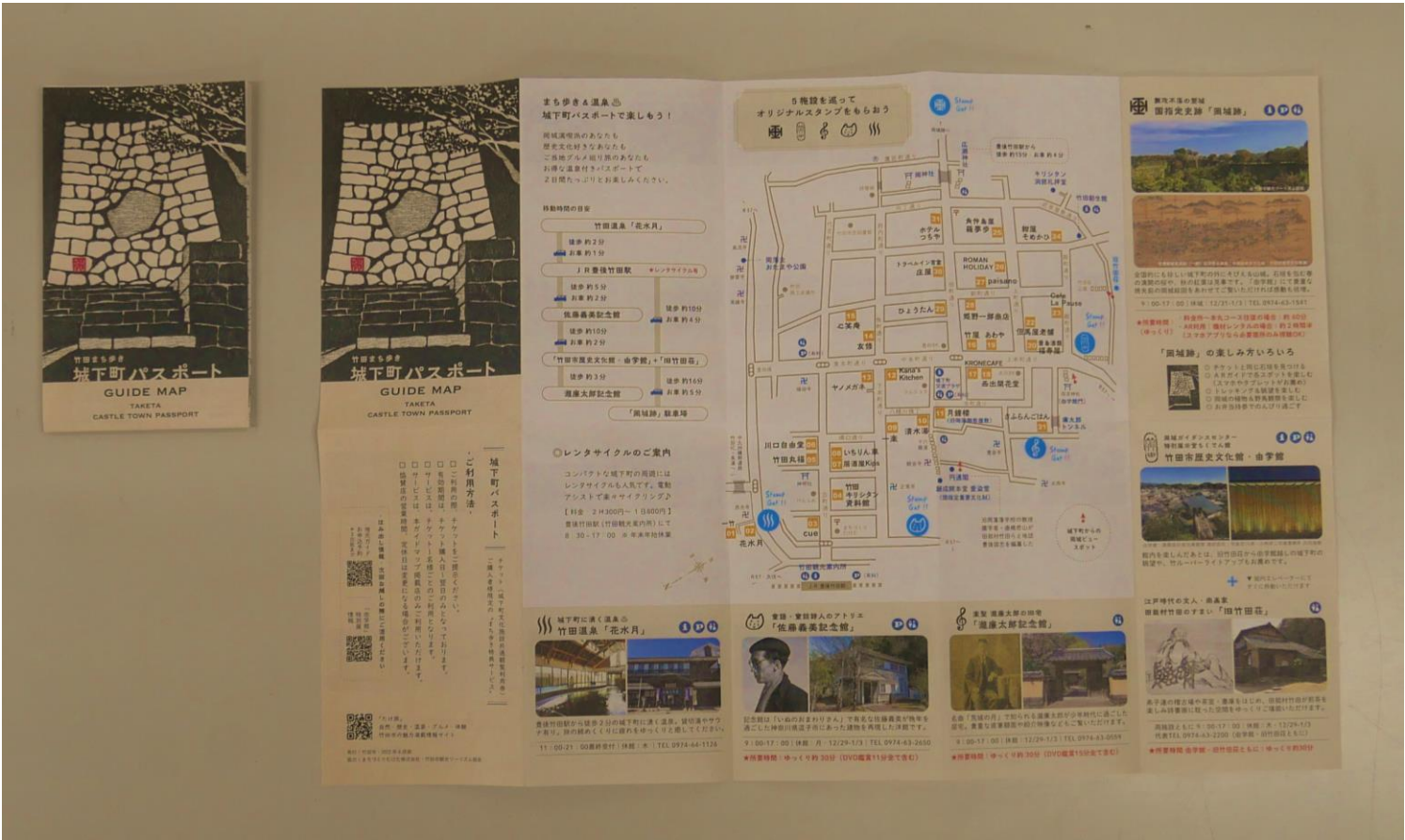
評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
項目		評価対象年度
		令和3年度
		現在の状況
城下町・岡城跡歴史学習事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成26年度～令和5年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	竹田市内の文化財を中心とする文化財の視察、調査研究、学習による文化財理解を通して文化財愛護の啓発を行う文化財市民講座、歴史資料館や市立図書館に収蔵される古文書の読み下しを行う古文書解読講座、古文書を整理分類し基礎知識を学ぶ古文書実践講座などの充実を図る。また、各種講演会（由学館セミナー等）を実施し市民を対象としたに郷土学習の機会を設ける。	
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で		
主な開催した講演会・講座事業 ・竹田市歴史文化館ワークショップ 延べ参加者数85名 （ランプシェードを作ろう 8/21・8/22 25人、 藍の葉で草木染体験 9/23・9/26 26人、魔女のほうき 10/31 15人、クリスマスワークショップ 12/12 19人） ・竹田市歴史文化館講座 拓本講座（4回開催 11/28、1/30、2/27、3/21）受講生5人		
実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	令和3年度は新型コロナ感染拡大により、計画していた多人数での講演会等が中止となったものがあった。	
状況を示す写真や資料等		
 竹田市歴史文化館ワークショップの様子（藍の葉で草木染体験）  竹田市歴史文化館講座の様子（拓本講座）		

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
城下町案内マップ等制作事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成26年度～令和5年度	
支援事業名	単独事業	
計画に記載している内容	城下町を訪れる来訪者に対し、回遊ルートや文化財などの情報をわかりやすく解説したパンフレットを作成し配布する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
城下町を訪れる観光客に対し、案内マップや各種パンフレットを配布し情報提供を行うことで、効率よく城下町の散策が可能となり、回遊性の向上につながった。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	来訪者からの意見収集等を実施し、必要なパンフレット及び案内マップを作成する。	

状況を示す写真や資料等



城下町案内マップ



岡城ARパンフレット

評価軸③-14

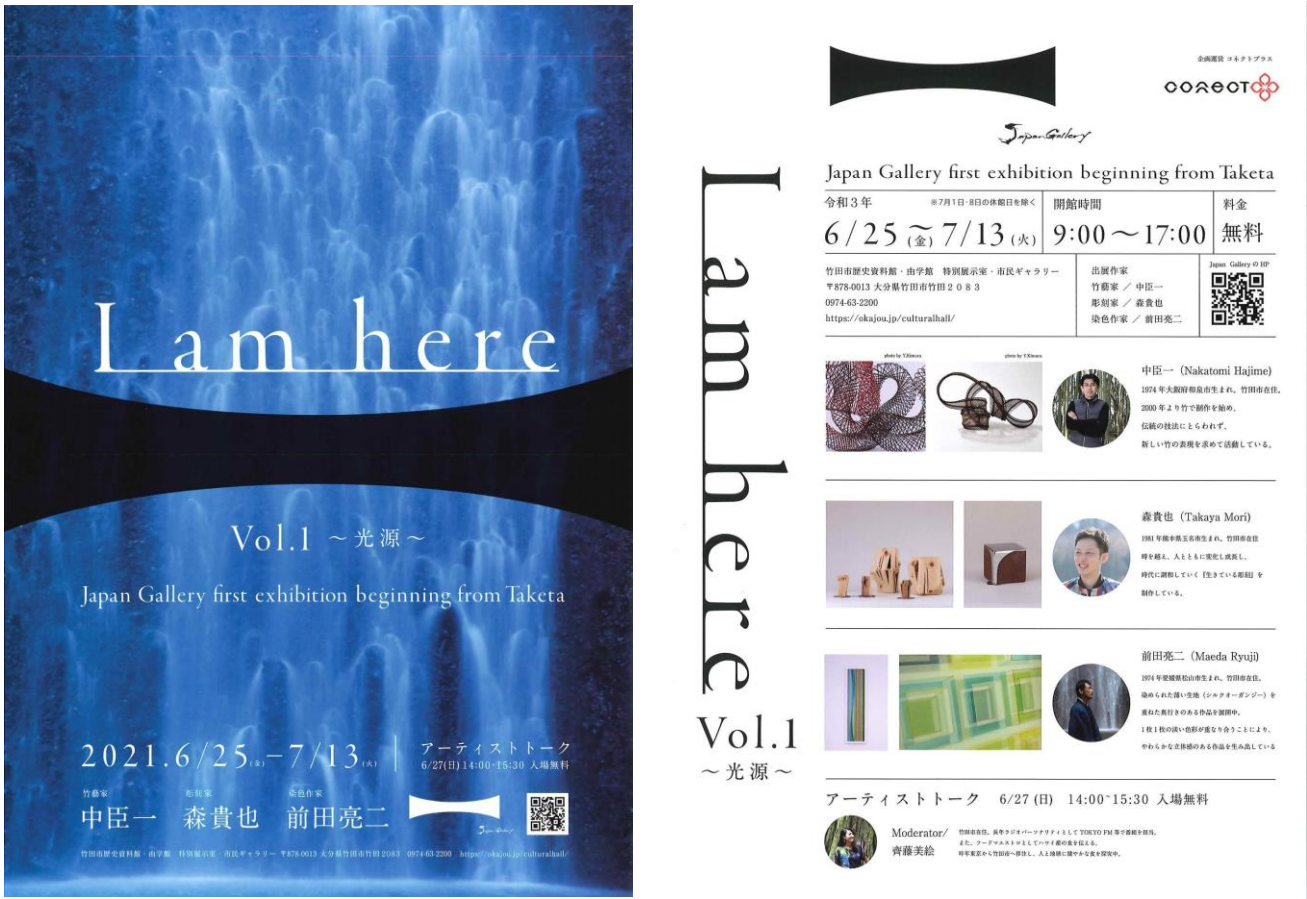
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
城下町移住定住支援事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成26年度～R5年度		
支援事業名	単独事業		
計画に記載している内容	城下町で様々な文化活動の担い手を一定期間招聘し、移住を視野に入れた創作活動の場を提供する。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度は竹田市歴史文化館を会場に、6月25日～7月13日にかけて竹田発の現代アート展「Japan Gallery I am here Vol.1 ～光源～」を開催した。
多くの来場者が訪れるとともに、新聞やSNSでも頻繁に取り上げられ、竹田のアートシーンの発信に貢献した。
また、アーティストに創作活動の場を提供している「竹田総合学院TSG」について、持続可能な施設への転換と利用者の増加を狙い、3月に条例・規則改正を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	引き続きWebサイト「Japan Gallery」や「竹田総合学院TSG」を活用して竹田のアートに関する情報発信を行うとともに、アーティストの移住を促進する。 また、移住したアーティストが地域に馴染んで定住するよう、市民との交流の機会を設ける。



「Japan Gallery」の紹介パンフレット



「Japan Gallery」の作品展示の様子

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
城下町・岡城跡回遊促進事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手

事業期間

平成26年度～令和5年度

支援事業名

市単独事業

計画に記載している内容

城下町と岡城跡を回遊する周遊自動車等やレンタル自転車等の交通手段を構築することにより、高齢者や身障者の来訪者に対し優しい回遊ルートを構築する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「岡城登城バス」の運行及びレンタル自転車の貸し出しをを行った。令和2年度については、新型コロナウイルス感染対策として、登城バスの運行日数、レンタル自転車の貸し出し中止などの措置により、利用者数が大幅に減少した。また、城下町から岡城跡へ誘導する案内板の設置を行った。
令和3年度登城バス利用実績 延べ 172名(R3.3末) 令3元年度レンタル自転車利用実績 95台(R3月.3末)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	岡城登城バスやレンタル自転車の活用は浸透しつつあるが、高齢者等の移動手段として周遊バスの運行などが必要であることから、岡城跡から城下町への相互の移動手段に係る手法構築の検討を進めていく。

状況を示す写真や資料等

岡城登城バス運行実績

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
運行日数(日)	121	49	56	70	78	5	6
利用者数(人)	6,204	3,013	4,295	3,933	4,041	142	172



岡城登城バス

レンタル自転車実績

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
貸出数(台)	530	590	400	400	504	95	194



城下町から岡城跡へ誘導する案内板の設置

評価軸③-16 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
項目		評価対象年度
		令和2年度
		現在の状況
民俗芸能等支援事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成15年度～令和5年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	竹田市内で伝承活動を行う民俗芸能保持団体に対し、用具の整備や担い手の育成に対する支援及び調査や記録保持(記録映像撮影等)を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら、次代の担い手の育成のため、コミュニティー助成事業を活用し民俗芸能や伝統行事の用具整備(1件 神原神楽)及び明治安田クオリティオブライフ文化財団による伝統芸能継承の助成(阿鹿野獅子 1件)を実施した。こうした支援により、伝統芸能継承意識・意欲の向上を図った。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		今後も継続して伝承活動に必要な用具等の整備を行う必要がある。
状況を示す写真や資料等		
 コミュニティー助成事業により整備した、神原神楽に使用する衣装  明治安田クオリティオブライフ文化財団により助成を受けた阿鹿野獅子		

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		
項目		評価対象年度 令和3年度
文化財の修理に関する事項		現在の状況 ☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	文化財の修理や整備について、有識者に指導・助言を仰いで実施している。また、文化財の修理や整備にあたっては、文献等の史料に基づいて歴史の真正性を担保とした修理・整備を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
岡城跡の通路整備を実施した。(P6に記載) 岡藩主中川家墓所の竹垣改修工事を実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	来訪者の利便性向上のため岡城跡内の通路の整備、岡藩主中川家墓所の竹垣改修工事を実施した。今後も文化財の保存修理を進めていくとともに、合わせて公開活用を図っていく。	
状況を示す写真や資料等		
 岡城跡の通路整備状況  岡藩主中川家墓所の竹垣改修状況		

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

令和3年度	
項目	現在の状況
文化財の保存又は活用に関する事項	
☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	資料の保管・公開を行う施設の老朽化が進んでいるため、施設の整備を行う。また、登録有形文化財等の歴史的建造物の公開活用を図る。また、岡城跡や旧竹田荘等の本市の観光の中心となる文化財施設を回遊するルートの歩道や駐車場の整備、案内板・説明版による情報発信の実施及び、これらの整備に加えて観光案内や休息施設を備えた施設を設置、城下町から岡城跡へのアクセス方法の整備を行い観光客が訪れやすい環境づくりを行う。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
建物修景補助事業(P3に記載) 史跡岡城跡保存整備事業(P6に記載) 城下町・岡城跡回遊促進事業(P17記載)	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	城下町内の案内標識等の充実を行い、城下町と岡城跡を繋ぐ手法の構築を図っていく。

状況を示す写真や資料等



城下町から岡城跡へ誘導する案内板の設置

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
文化財の周辺環境の保全に関する事項		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	竹田市景観条例及び竹田市景観計画に基づき区域内の環境保全に努める。また、道路の美装化、排水路の整備、街路灯や案内板等のデザインについて、文化財及び周辺環境と調和に配慮し実施する。また、過疎高齢化により城下町内の空き家・空き店舗等が発生している。老朽建物の除却及び空き家・空き店舗の有効活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
道路美装化事業(P7に記載) 城下町老朽危険空き家等除去事業(P11に記載)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		今後も、竹田市景観条例及び竹田市景観計画に基づき区域内の環境保全に努める。老朽家屋除去後の空き地利用について検討を行う。	



老朽家屋を除却前



老朽家屋除却後



道路美装化状況

評価軸④-4 文化財の保存又は活用に関する事項	
項目	評価対象年度 令和3年度 現在の状況
文化財の防災に関する事項	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	消防本部や警察署と連携し、文化財の盗難に対する見回りや防災点検、住民への啓発活動を実施し、文化財の防犯・防災に対する意識の向上を図るように努める。また、文化財の所有者や管理者等に対し防犯設備や消防設備を可能な限り設置するよう指導を実施する。さらには竹田市地域防災計画に記載された、有事の際の文化財保護に関する連絡体制の確認を行う。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
文化財防火デーに合わせ火災防護訓練を計画したが、新型コロナのため中止となった。 史跡岡城跡を形成する急崖部について、地震や豪雨による落石の危険性があるため急崖部調査を実施した(P6に記載)	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	防犯・防災意識の向上を図るための連携及び訓練等の開催を継続的に行っていく。また、岡城跡の急崖部調査の成果を基に急崖部対策工事を実施していく。
状況を示す写真や資料等	
	
岡城跡急崖部調査の様子(ドローンによる崖面観察)	
	
岡城跡急崖部調査の様子(ボーリング調査)	

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
		現在の状況
文化財の保存・活用の普及・啓発に関する事項		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手

計画に記載している内容

市民ボランティアガイドによる案内や竹田市立歴史資料館での常設展示・企画展示・各種講座をつうじて地域の歴史・文化の啓発活動を実施している。また、歴史文化に関する講演会や先人顕彰活動の拠点施設整備を行うとともに、住民や観光客が手軽に情報を得ることができる案内パンフレットの作成や観光案内施設を設置する。

定性的・定量的評価(自由記述)

※定量的評価は可能な範囲で

史跡岡城跡保存整備事業(P6に記載) 城下町ガイド養成事業(P13に記載)
城下町・岡城跡歴史学習事業(P14に記載) 城下町案内マップ等制作事業(P15に記載)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	岡城跡や旧竹田荘と竹田市歴史文化館を一体として有効活用し、城下町の歴史・文化の啓発、向上を図っていく。

状況を示す写真や資料等



岡城跡ARの説明パンフレット



竹田市歴史文化館でのワークショップの様子(藍の葉で草木染体

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和3年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
竹田初の共同オフィス 都市部からのテレワーク 移住定住 地域交流の場	2021.6.3	大分合同新聞	
庄屋屋敷の茶房が人気 竹田、築370年ほぼ当時の姿	2022.1.20	大分合同新聞	
呼び込めIT企業 竹田市がテレワーク拠点整備	2022.3.11	大分合同新聞	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
城下町内の空き地や空き店舗棟を活用し、新たなにぎわい創出が行われ地域活性化が図られた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし		空き地や空き店舗を活用した、にぎわい創出を行っていく。	
状況を示す写真や資料等			

評価軸⑤-2

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		評価対象年度	令和3年度
岡大豆でまちおこし 特産品として復活へ	年月日	掲載紙等	
	2021.6.23	大分合同新聞	
「きれいな色に驚き」竹田で藍染め体験教室	2021.10.4	大分合同新聞	
藍染めの伝統技法体験 竹田の小中生20人	2021.12.19	大分合同新聞	
岡大豆新聞できたよ 竹田城原小 江戸期の食材伝える	2022.2.18	大分合同新聞	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地域の歴史文化の掘起し及び情報発信が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	今後も市内に残される歴史文化の掘起しを行い、魅力の発信を行ってゆく。

状況を示す写真や資料等

評価軸⑤-3

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		評価対象年度	令和3年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
都野中生が伝統の神楽継承	2021.5.14	大分合同新聞	
禰野神楽継承へ奮闘 廃校検討の竹田・菅生小で舞い始め式 活動続け40年「地域を元気に」	2021.6.30	大分合同新聞	
玉来子ども神楽愛護少年団 お待たせ 活動再開	2021.12.1	大分合同新聞	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伝統芸能、伝統行事の継承が図られた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	伝統芸能、伝統行事の継承を図るため、後継者育成のための支援を行う。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸⑥-1

その他(効果等)

項目		評価対象年度	令和3年度
計画認定による観光客数の推移について			
計画に記載している内容	来訪者など多くの人々に歴史的町並みや歴史的道筋を回遊させることにより、歴史や文化を活かした観光振興に繋げていく。このため、積極的な情報発信や周辺景観に配慮した案内標識、歴史・文化遺産の説明板、駐車場等の整備を行い、『歩けるまち』、『歩きたくなるまち』の実践構築を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
竹田市を訪れる観光客数について、平成28年の熊本地震により落ち込んだ観光客数は増加の傾向にあったが、新型コロナウイルス感染拡大により、大幅な減少となっている。岡城ARや歴史文化館等の新たな城下町施設の			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし		新型コロナ終息後を見据え、岡城ARや歴史文化館等の新たな城下町施設の充実を図る必要がある。	

状況を示す写真や資料等

竹田市を訪れた観光客数の推移（単位：人）			
年 度	観光客数（竹田市全体）	岡城跡	備 考
H21	3,584,473	85,990	
H22	3,440,409	71,042	
H23	3,193,584	67,130	
H24	3,140,600	76,148	北部九州豪雨
H25	3,304,492	68,326	
H26	3,225,003	76,941	計画認定(H26.6)
H27	3,320,673	75,344	
H28	2,701,613	53,481	熊本地震(H28.4)
H29	2,814,889	59,834	
H30	2,835,496	60,000	
R1	2,923,679	74,315	
R2	2,222,984	46,117	新型コロナ
R3	1,954,143	41,548	新型コロナ



岡城跡に設置したデジタルコンテンツ(岡城AR：R2.8.8運用開

法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	令和3年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 竹田市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 令和4年5月に書面会議にて開催	
(コメントの概要) 竹田市歴史的風致維持向上計画進捗評価について 委員からの主な意見 ・新たな城下町施設だけでなく、既存の施設についても利用・活用を図ってく必要があるのではないか。 ・空き家対策の充実(撤去のみではなく、再利用や活用を図るべき) ・重点区域(城下町区域)のみの事業推進では、他地域(久住、直入、荻)の活性化にはつながらないのでは、市域全体での事業推進を 図る必要があるのではなか ・多くの事業について進捗が図られているが、計画記載の事業の完遂を目指し、進行中の事業の推進を進めてほしい。 ・計画完了後の方向性(2期計画)について議論が必要なのではないか。	
(今後の対応方針) ・新たに建設された城下町の公共施設等のみではなく、既存の公共施設、民間施設(空き家等)の活用について検討する。 ・重点区域での事業効果を検証し、他地区での事業推進の可能性を検討する。 ・新型コロナウイルス感染症により遅れの生じている事業について、終息を見据えた事業実施のスケジュールを関係部署と連携し検討する。 ・計画の後半を迎え、計画完了後について、庁内会議、協議会において議論を行う。	